



## プラスチックを減らすために出来ること

今、大きな環境問題の1つになっている「プラスチック」。組合員の多くの方からも、「よっ葉生協としての対策をすすめて！」のご意見をいただいています。よっ葉生協として業務の中でできる対策を急ごうと、話し合いを進めています。昨年11月に開催したよっ葉ふれあいまつりでは、「さらばプラスチック!! ～地球上からマイクロプラスチック公害をなくそう」をスローガンとし、来場者の方に「マイバック」やマイお椀、マイ箸などの持参を呼びかけました。栃木県では全国に先駆け「プラごみゼロ宣言」をしたこともあり、ビニール袋や使い捨て食器の削減に賛同の声をいただき、たくさんの方にご協力をいただき、会場全体のゴミ削減にもつながりました。

これ以上、環境中にプラスチックを放出させないためには、企業や自治体に規制を求めていくとともに、ひとりひとりが暮らしの中でできることを一緒に考えて実践していきましょう。皆さんからのご意見や工夫などご紹介していきますので、よっ葉だより宛てに注文用紙の下の欄にご記入をお願いいたします。

2019年11月 日本消費者連盟 編集・発行  
「みんなで減らそうプラスチック」より

＜ 理事長 倉持 ＞



合成繊維の服から抜け落ちたマイクロファイバーや、柔軟剤などの香りを包んで長持ちさせるマイクロカプセルも、マイクロプラスチックです。洗濯時に衣類に絡みついたカプセルは、着用している時に弾けると、その破片が香りと一緒に大気中に飛び散ります。小さい破片は、呼吸により人の肺にまで入り込みます。洗濯水と一緒に排水されたファイバーやカプセルは、下水処理施設へ行きますが、一部は除去しきれずに川へ放流され、海を汚染します。

海が汚れているのは、人間が使ったプラスチックが川から海へ流れているからです。きちんとごみを出したつもりでも、多くのプラスチックは、風で舞ったり、集積所でカラスに荒らされたりして、川に落ちていきます。プラスチックの中でも5ミリメートル以下のものをマイクロプラスチックと呼びます。多くは紫外線などにより劣化して破片になったものですが、最初から5ミリメートル以下に作られたものもあります。



# タネを守るのは私たち

## ～みんなの共有財産だからビジネスの対象にはなりません!～

日本の種子（たね）を守る会主催（2019年12月14～15日）

昨年春に「主要農作物種子法」（種子法）が廃止され、代わって種子を守る条例制定をめざす活動が各地で活発になっています。廃止とともに早々に制定した埼玉県、新潟県、兵庫県などに続き、今年には20を超える自治体で種子条例が制定済み、もしくは制定が予定されています。多国籍企業を想定した民間企業に、種子の遺伝子情報や経済益を渡しかねない国の方針に、多くの市民が危機感を抱いて行動してきた結果です！

2日間にわたって開かれた集会では、北海道から鹿児島まで総勢88名の参加者の熱気があふれました。

Q 主要農作物ってなあに？

A 日本人の食の基盤である米、大麦、小麦、大豆です。これらを安定供給するため、種子法では、優良な種子の生産と普及は国の役割であると位置付けていました。しかし「民間企業の参入を阻害している」との理由から、2018年3月に廃止されてしまいました。

種苗法の問題点に言及する浅野正富弁護士



### 1日目「全国種子条例情報の共有及び意見交換会」

では、各地で種子条例の制定に取り組む市民や農業者、生協、県市議会議員、行政担当者などから、進捗状況や課題などが報告されました。

続けて広島県の船越建明氏から【広島県農業ジーンバンクの歴史と未来】と題した講演がありました。ジーンバンクは、稲や麦、マメ、雑穀などの作物の種子を収集し、その土地で継がれてきた遺伝資源を未来へ引きつぐためのものです。広島県では30年の活動を経て、18600点もの種子を保存しているそうです。



親睦会では、料理研究家の枝元なほみさんお手製の料理がふるまわれました。枝元さんは、日本の種子（たね）を守る会の常任幹事を務めておられます。各地の参加者から持ち寄られた農産物が使われていました。栃木県からは、民間稲作研究所（上三川町）の有機小麦とグリーンオイル（なたね油）、古谷農園（大田原市）の豆、糸川さん（壬生町）の有機米などがありました。有機栽培や地域特有の農産物は、消費されてこそ守っているものなのです。

### 2日目は「自家採種禁止種苗法の改定及びゲノム編集についての報告会」

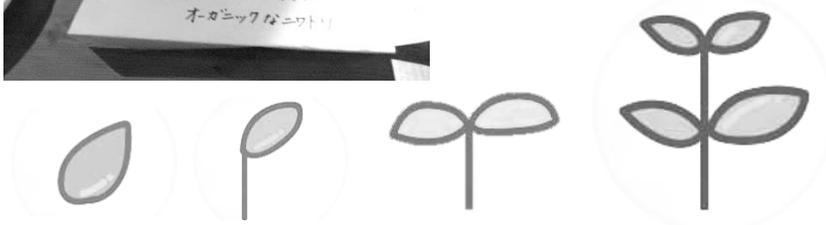
たとえば有機農業の米作りでは、翌年に蒔くタネは、タネ取り（＝自家採種）をします。タネ屋さんから種子を買うよりも、自分のところで増やして種取りをしておく方が、経済的にも安くなるからです。ところが2020年には、「登録品種に関しては自家増殖（採種）を禁止」という種苗法の改定が予定されていることが明らかになりました。優良な株から増やした苗を取っていくイチゴやサツマイモ、果樹なども自家増殖禁止の対象になるそうです。

また、特定箇所の遺伝子を破壊してつくられるゲノム編集作物は、その安全性が危惧されています。「ゲノム編集食品」には表示義務がありませんので、市場などに出回ってしまうと私たちは避けたくても避けることができません。食の安全がおろそかにされ、日本の農業の行く末を考えると恐ろしいことだと思います。

10年 50年 100年後・・・私たちの子どもやその先を担っていく人たちの食生活は、どんなものであってほしいですか？食生活を考えることは、どのような農業、食産業であるべきかを考えることでもあります。遺伝子操作や農薬、化学肥料、民間企業に依存した農業だとすれば、農地は荒れ、種子などの生産費用は高騰し、生産者がますます減ることが容易に想像されます。その影響は、必ずや私たち消費者にブーメランのように戻ってくるはずで

す。これからの食と農を守るには、都道府県や市町村、それぞれの地域で知恵を絞り、志を同じくする人たちと連帯することが不可欠です。環境負荷の少ない農業をすすめ、生態系の多様性を守っていきましょう。その要を担うのは有機農業です。学校給食も、地域行政の政策しだいで持続可能な農業、子供たちの健やかな成長につなげていけます。そんな思いを、全国の人たちと共有した集会になりました。

(理事 三輪)





## 参加してみませんか

## 下妻

## ナチュラルクリーニング 実践編

汚れたものを持ちよって、環境にやさしい石けん、重曹、酸素系漂白剤を使って、キレイにしましょう！ナチュラルクリーニングのコツを楽しく学びましょう。

日時：2月26日（水）10:00～12:00（受付9:45～）

会場：千代川公民館（茨城県下妻市鬼怒230）

参加費：組合員 大人200円  
一般 大人300円

定員：15人

託児：あり（無料）

締切日：2月14日（金）

主催：つくば委員会

問合せ：よつ葉生協 組合員活動室 須田  
TEL 0120-07-1613

<持ち物>きれいにしたい汚れもの、襟汚れのYシャツ、黄ばんだフキン、タオル、換気扇、茶渋コップ、魚グリルなど



## 西方

## 西方ビレッジさんに産地見学に行きましょう

いつもくらはでおなじみの西方ビレッジ駒場さんのいちご農園と一緒に見学に行きませんか。こだわりを伺って知識を深めましょう。今回は見学なので、試食やお土産はありません。

日時：2月26日（水）10:00～11:00（受付9:45～）

会場：西方ビレッジ（栃木県栃木市西方町元621-1）

参加費：無料

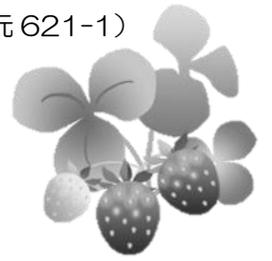
定員：5人 託児：なし

締切日：2月7日（金）

主催：鹿沼委員会

問合せ：よつ葉生協 組合員活動室 須田  
TEL 0120-07-1613

汚れてもよい服・長ぐつでお越しください。詳細のお手紙を2/16以降に郵送いたします。



## 足利

## 万能調味料「塩こうじ」でぽかぽか洋風メニュー

「塩こうじ」を手作りして洋風メニューを作ります。前菜、スープ、メイン料理、デザートに塩こうじを使います。持ち帰り用の「塩こうじ」作りにもチャレンジできます！

日時：3月2日（月）9:30～14:00（受付9:15～）

会場：足利市民プラザ 料理教室（栃木県足利市朝倉町）

参加費：組合員 1200円 一般 1500円

定員：20人

締切日：2月14日（金）

主催：よつ葉ミモザの会（よつ葉生協のサークルです）

申込・問合せ：田嶋 TEL 090-4139-1075

ショートメールかFAX 0284-21-2331

<持ち物>エプロン、三角きん、ふきん、小びん（200ccくらいのもの）

※託児はありませんが、皆さんで見守りながら一緒に参加できます。

## 文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先にお問い合わせください。

## 宇都宮 宇都宮美術館 令和元年度 美術講座

## ●イベント ルネ・マグリットの世界

《夢》と《大家族》を中心に

●日時 2月11日（火・祝）14:00～15:30  
（開場13:30）

●講師 吹田映子（自治医科大学医学部総合教育部門助教）

●場所 宇都宮美術館 講義室  
（栃木県宇都宮市長岡町1077番地）

●入場 無料 ●定員 先着170名

●内容 ルネ・マグリット（1898-1967）の傑作《夢》と《大家族》。その美しさと謎は来館者の視線と興味をひきつけてきました。県内で活躍している新進気鋭のマグリット研究者がこの2点の持つ不思議な魅力を読み解いていただきます。

●問合せ TEL 028-643-0100/FAX 028-643-0895  
OH P <http://u-moa.jp>

## 宇都宮

## ●イベント 洋食で おもてなし

寒い中にも草木が芽吹く季節になりました。ガランティーヌ他、数種類の洋食を作ります。楽しい春の一日を思い浮かべて調理実習しませんか。

●日時 2月14日（金）9:50～12:30

●場所 宇都宮友の家（栃木県宇都宮市駒生3361-55）

●受講料 800円（材料費別途）

宇都宮友の会会員500円（材料費別途）

●定員 24名

●託児 要予約10か月以上のお子様10名 託児料250円  
（保険料を含む）※おにぎりを持たせてください。

●申込・問合せ 宇都宮友の家 TEL 028-627-1080  
担当：成田 TEL 090-5304-7821

●締め切り 2月7日（金）受講料を添えてお申し込みください。  
<持ち物>エプロン、三角巾、筆記用具

## 真岡

## ●イベント 映画『いただきます』上映会&amp;安田節子氏 講演会

「食が生みだす明るい未来」～あなたの食べものは何からできている??～

●日時 2月11日（火・祝）開場12:30  
映画上映 13:00～ 講演会 14:30～  
終了予定 16:00

●場所 真岡市市民会館 小ホール（いちごホール）  
（栃木県真岡市荒町1201）

●参加費 大人1000円、学生（中・高・大・専門学校生）500円  
※購入されたチケットの払い戻しは出来ません。

●定員 200名 親子スペースあり（託児なし）

●主催 元氣な未来へつなぐ会

●申込方法 TEL 080-5378-7037（七海）またはFacebook イベントページに参加ボタンを押して参加人数をコメントしてください。

後日開催

## まんまる農園 味噌づくり（初めての方大歓迎!!）

日時：3月1日（日）9:00～13:30

場所：まんまる農園（栃木県真岡市八篠487-2）

参加費：3700円（黒猫館さんの昼食付き）

1人約3.5kg お持ち帰り

定員：20名

申込・詳細：元氣な未来へつなぐ会もおか

Facebook 味噌づくりイベントページにて

# 第6回 定例理事会報告 12月11日(水)

組合員数(9月20日現在)	加入	脱会	純増	組合員数
	194人	102人	92人	25,841人

## <報告・討議事項>

- (1) 茨城県産業廃棄物不法投棄の情報提供に関する協定を締結しました。  
業務中に不法投棄等を発見した場合、速やかに廃棄物対策課や県民生活センターに通報の協力をします。県交付の不法投棄監視中ステッカーを業務車両に貼付し、監視活動をアピールし不法投棄の抑止を図ります。
- (2) 茨城県適格消費者団体の設立準備について  
事業者の不当な行為（勧誘、契約条項、表示）をやめるように求めることができる団体となります。県生活協同組合連合会、NPO 消費者相談室、消費者団体連絡会が設立呼びかけ人となり、弁護士、司法書士、相談員の方々の協力をいただき、適格消費者団体をめざす特定非営利法人「消費者サポートいばらき」の活動を開始すると共に、県への申請をすすめていきます。よつ葉生協も正会員として入会し協力していきます。

- (3) NPT 再検討会議被爆者活動支援募金について  
2020年に核兵器不拡散条約再検討会議が国連で開催されず。  
この会議が、核兵器廃絶に向かう確かな約束を固めよう会議になるよう、日本原水爆被害者団体協議会と生協代表団は、国連での原爆展と証言活動に重点をおき行動します。原爆展の場で証言、各国の国連代表部に被爆の実相を訴え、NGOの集会、平和パレード、学校や集会での証言活動なども予定されています。現地での「原爆展」作成費用や被爆者渡航費用補助、現地事務局・サポーターの活動費用補助など全国の生協で募金活動の取組を行っています。よつ葉生協も年明けに被爆者活動支援募金の取り組みを実施していきます。

## 台風被害の支援金へのお礼状を頂きました。

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、去る十月十三日の台風19号による水害について、御心配お見舞いを戴き厚く御礼申し上げます。

わが家は、久慈川上流の堤防が決壊して大洪水となり、家具家財はもとより、出荷直前の米や農機具などに甚大な被害がありました。

このため、被災当時は茫然自失して心身共に落ち込みましたが、皆様方のご支援によりようやく復旧にめどが立ちましたので書中にてお礼申し上げます。

敬具  
綿引克友

拝啓

貴組合に置かれましては益々ご清祥のことと思います。

この度は、台風19号の浸水被害に対するご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。また、過分なお見舞いを頂き恐縮しております。

10月12日(土)から13日(日)にかけての台風19号による被害は、予想を上回るものがあり特に農家の皆様の被害は甚大です。これから、生活の復旧に向けて厳しい道程が、待ち受けていると思えますが、少しずつでも進んでいきたいと願っております。

また、地球の温暖化が、様々な方面で我々の生活を脅かしているのを確実に実感しております。今一度立ち止まって、将来に向かって何ができるのか深く考えてみたいと思えます。

それでは、簡単でございますがご支援の御礼と致します。

敬具  
マルトク丹野商店  
丹野徳雄

### 共通申込書

希望する行事名に  してください  
 ナチュラルクリーニング 実践編  
 西方ビレッジに産地見学に行きましょう

会員コード	氏名
住所	
連絡のつきやすい電話番号	
参加人数 (大人) 組合員	人 ※同居の家族は組合員に含みます
(大人) 組合員以外	人
(小・中学生)	人 歳 歳 歳
(未就学児)	人 歳 歳 歳
参加者のアレルギー	無・有 ( )

託児：6カ月以上のお子様から	人 歳 歳 歳 歳
お子さんのアレルギー	無・有 ( )

備考欄

### 東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (1月2週分)

ご協力ありがとうございます。  
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位：円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	12,200
震災孤児を支援する募金 (910番)	25,700
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	13,700
合計	51,600

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側【企画商品】内の【復興支援募金】をクリック。一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス [yotsubadayori@yahoo.co.jp](mailto:yotsubadayori@yahoo.co.jp)

